

## 桐生自然観察の森・定点カメラモニタリング2013

桐生自然観察の森 田野芳久

2011年11月から、桐生自然観察の森ではセンサーカメラによる大型哺乳類の調査を行っています。

2013年末で撮影開始から2年1ヶ月を経過しました。

今回は、2013年末までのデータを基に、桐生自然観察の森の現在の動物たちの種類・出現動向などを把握しました。

また、実際の動物たちの撮影画像の展示もいたします。

### 2. センサーカメラ仕様・設定

機種名：Bushnell Trophy CAM

検知方式：パッシブ赤外線方式動体センサ

撮像画素数：6メガピクセル

夜間撮影：照度自動切替による赤外線LEDフラッシュ発光

撮影間隔：60秒（2011/11～2012/3）・30秒（2012/4～現在まで）

### 3. 園内生息種とセンサーカメラに撮影された種

桐生自然観察の森において生息が確認された種とセンサーカメラによって撮影できた種は以下の通りです。

2013年はセンサーカメラで新たにコウモリ類が確認できました。

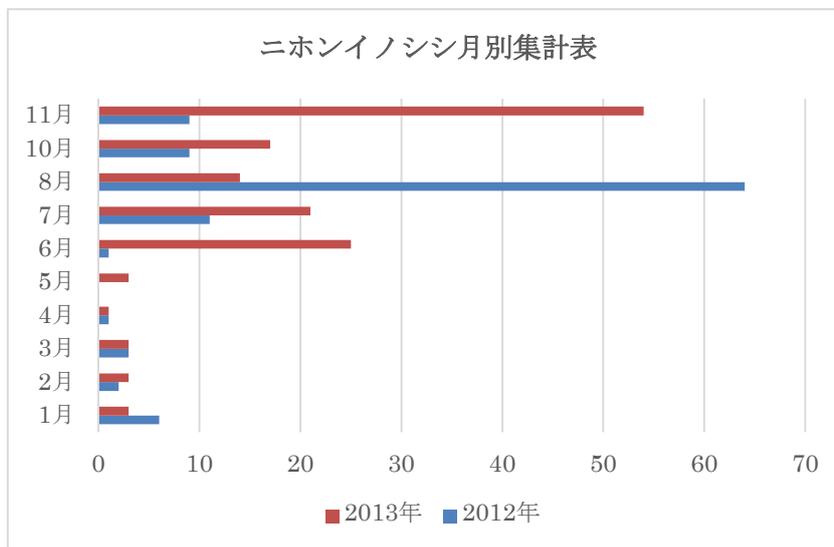
目録記載種	撮影種	目録記載種	撮影種
ニホンノウサギ	○	ツキノワグマ	-
ニホンイノシシ	○	ハクビシン	○
ニホンカモシカ	○	ヒメネズミ	-
ニホンジカ	○	アカネズミ	-
キクガシラコウモリ	?	カヤネズミ	-
テングコウモリ	?	ムササビ	-
ニホンザル	○	ニホンリス	-
ニホンテン	○	カワネズミ	-
ニホンイタチ	-	ジネズミ	-
ニホンアナグマ	○	アズマモグラ	-
ホンドタヌキ	○	ヒミズ	-
ホンドギツネ	-		

※ ?印はコウモリ類が確認されたものの、同定が困難なことを示す。

※センサーカメラ設置高の関係から、食虫目・地上性のげっ歯目はセンサーで検知されないと考えられます。

### 3. ニホンイノシシの年別出現数比較

桐生自然観察の森園内の1台のセンサーカメラに撮影されたニホンイノシシの出現数を2012・2013年で比較しました。



これを見るとまず、出現数ピークが2012年は8月、2013年11月と2ヶ月の隔たりがあるのがわかります。

現時点でその理由は不明ですが、気象データ等と比較を行うことで、ピーク出現時期の変化要因が解明できるかもしれません。

ポスター展示では、ほかの種類動物たちの撮影データにも分析を加え、結果を掲載しています。

### 4. 動物たちの姿

ちょっとした菓子箱ぐらいの大きさの機械ですが、センサーカメラではこんな風に動物の自然な姿を撮影できます。

この他の生き物たちの姿もモニターで展示します。



ニホンジカ



ニホンイノシシ